

2026年 スクラッチ競技 特別規則

本競技においては、次の特別規則を適用する。
この特別規則に定めのない事項はすべて日本ゴルフ協会規則による。

記

- アウト・オブ・バウンズの境界は白杭をもって標示する。
- 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
- レッドペナルティエリアはその区域の限界を赤杭または赤線をもって標示する。
併用する場合は赤線を限界とする。
- 排水溝は動かさない障害物とする。
- 使用球の規格
 - 競技者の使用球はR&A発行の最新の公認球リストに載っているものでなければならない。
この条件違反の罰は競技失格。
- ホールとホールの間ではプレーヤーはプレーを終了したばかりのホールのグリーン上及びその近くではいかなる練習ストロークも行ってはならない。
但し、9ホール終了時点で練習パッティンググリーン(カラー及びエッジその周辺)でパターを使っての練習のみ行っても良い。(予選ラウンドのみ適用)
本項の違反は、次のホールに一般の罰。
- 東コースの4番、5番間に於ける境界の黄杭は適用外とする。
- 競技特別規則に追加、又は、変更のある時はクラブハウスに掲示、若しくは当日スタート立ち合い時に告知する。
- ホールアウト後、アテストエリアにて競技者が対戦結果を報告した時をもってそのマッチの結果は最終となる。
 - ◎予選ラウンドはスクラッチ競技とする。
(32名までが決勝トーナメント進出)
 - ◎決勝トーナメントは、マッチプレーにて勝敗を決定する。
なお、競技はすべて2サムセルフプレーにて行う。
 - ◎決勝トーナメントにおけるマッチプレー時のカートリモコン操作は、奇数ホールは予選通過上位者が、偶数ホールは下位者が責任を持って受け持つこととする。

